第113回長崎整形外科懇話会テンプレート

（日本語のフォントはMS明朝、英語はTimes New Roman。

**ボールド**にする必要なし。フォントサイズは12。）

メールの件名に第113回長崎整形外科懇話会抄録（名前）とお書き下さい。

演題名

所属

名前

本文 (400字以内)

例文

脳性麻痺の股関節に対する軟部組織解離術の治療成績

長崎県立こども医療福祉センター

松林昌平、池間正英、二宮義和、山口和正

【目的】脳性麻痺の軟部組織解離術の治療成績を明らかにすること

【対象】1980年~2005年までに軟部組織解離術を行い、5年以上経過を追えた77例

154股（男54例、女23例）。手術時年齢は平均6歳3ヵ月、術後観察期間は平

均9年3ヵ月。

【方法】 単純X線像にて術前と最終観察時のMigration percentage ( MP )を計測し、相関関係を調べ、手術時年齢5歳未満と5歳以上の2群にわけて比較した。

【結果】5歳未満では術前と最終観察時のMP%の相関係数は0.22（N.S.）であっ

　　た。5歳以上では術前と最終観察時のMPの相関係数は0.60（p<0.01）であっ

　　た。

【結論】5歳未満では術前のMPの程度に関わらず、軟部組織解離術の適応がある。